

担当教員 日高真吾		Instructor Name HIDAKA Shingo		
開講期 前期	Class Starts at 1 st Semester	開講期間 半期	Period One Semester	対象年次 / Suggested Grade 3,4,5
科目コード / Subject Code 20DCSf02		単位 / Credit 2		
科目名称： 文化資源研究特論		Subject: Proseminar (Cultural Resources Studies)		
<p>授業概要：</p> <p>大規模災害時における文化資源の保全活動—被災文化財の視点から— Conservation Activities of Cultural Resources in Large-scale Disasters: From the Viewpoint of Cultural Properties</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義と演習 ・これまでの災害でどのような被災文化財の救援活動が展開されたのかについて、講義を通して理解を深める。次に実習として被災した文化財の対応事例の調査を学生自らがおこなう。次に演習として学生の調査報告をもとに、被災文化財の救援活動の在り方について議論する。なお、授業日程は、教員および受講者において日程を調査しながら実施する。 				
<p>教育目標・目的：</p> <p>災害という危機的な観点から、文化資源を取り巻く環境ないしは状況について把握するとともに、それらを効果的に保存、活用する方法論を考察することで、論理的な思考と実践研究の視点を身につけることを目的とする。</p>				
<p>授業計画：</p> <p>毎週火曜日 13：30 から 16：30</p> <p>文献購読と討論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 購読 1 「日本における被災文化財のレスキュー事業の歴史」 4. 購読 2 「被災文化財のレスキューの内容について（救出・一時保管・応急処置）」 5. 購読 3 「阪神・淡路大震災時の文化財レスキューについて」 6. 購読 4 「中越地震及び能登半島地震における文化財レスキューの特徴」 7. 購読 5 「佐用町水害における文化財レスキューの特徴」 8. 購読 6 「東日本大震災における文化財レスキューの特徴」 9. 購読 7 「被災文化財の活用事例について」 10. 購読 8 「国立民族学博物館で展開した被災文化財の活用について」 11. 最終討論 				
<p>成績評価：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前課題 40% ・購読での活動 40% ・最終発表 20% 				

実施場所：

国立民族学博物館 4F 日高研究室

使用言語：

日本語

教科書・参考書：

参考文献

日高真吾編「記憶をつなぐー津波災害と文化遺産」千里文化財団、日高真吾「災害と文化財ーある文化財科学者の視点から」千里文化財団

備考：

地域文化学専攻・比較文化学専攻の学生のみ履修可